

はばたき

大分大学教育福祉科学部
附属小学校便り No.3 ①
平成27年 9月28日

～附属小学校の学習～

研究主任 時松哲也

前回の学校便りでは、附属小学校の生活指導についてお知らせしました。紹介した生活指導の取組を通じて、子どもたち自らが生活を見直し向上しようとする姿が見られるようになってきました。日々の取組をふり返り改善策を考えるクラスが増えたり、無言清掃での集合がばらついていたり、教師主導から子ども主体への歩みが見られるようになったのはうれしい限りです。日に日に清掃態度が改善したある児童は、「今まではみんな自分勝手にバラバラな感じがしていたが、今はみんなで協力して取り組めるようになってきている。」と自分自身や学校の変化について話していました。実行委員会を立ち上げて取り組んでいる6年生は、「今では汗をかくくらい真剣に掃除ができています。そばを通った先生に気付かないこともよくある。学校全体で取り組んでいるので下級生の手本になっているか自分たちで考えてやっている。」と話していました。

このように、一つひとつの取組を着実に真剣に実践することを積み重ねていくことで、子どもたちは自分たちの成長を実感し、より主体性を発揮しようとする姿勢になってきています。

今回の学校便りでは、子どもたちの生活面と共に伸びてきている学習についてお知らせします。今、附属小が学習面で重点的に取り組んでいることは、グローバル社会を見据えた「英語力の向上」「学びに向かう力の育成」「思考力・判断力・表現力の育成」の3つです。

「英語力の向上」

次期学習指導要領で小学校3年生からの導入が予定されている外国語活動を先取りする形で、すべての学年において外国語活動（モジュール学習）を導入しています。10年以上にわたり外国語活動を研究してきた文部科学省研究指定校の先行研究をモデルにしなが、附属小学校の子どもたちのためにアレンジしたカリキュラムを作成し実践しています。加えて、附属中学校の英



語科とのスムーズで系統的なつながりを図るために、附属中学校英語科教員との連絡委員会を毎月開催し、教員同士の相互参観と研究協議を重ねています。また、客観性を担保し幅広い知見から指導を得るべく大分県グローバル人材育成推進会議委員をアドバイザーに迎え、指導力の向上を図っているところです。

子どもたちは、外国語活動を通じて、コミュニケーションをする楽しさと異文化への興味関心を高めている様子で、6年生の児童からは、「塾とは違ってコミュニケーション力がついたと思う。相手に伝えるとき、キーセンテンスだけでなく、途中に聞き返したり、同意を伝えたりすることで会話がスムーズに進むことなどを学んだ。」「日本語にはない英語特有の発音の仕方がわかった。」「相手の目を見たりジェスチャーをつけたりしながらすることで外国語じゃない場面でも表情豊かに話す力がついたと思う。」

「グローバル社会のために外国語を学んでいると思っているが、今の勉強は将来社会に出て役立つと思う。」「クラスの雰囲気が前より明るくなって話しやすくなった。積極的に話す力がついた。」「ふだんあまり話さないような人としゃべったりすることができるようになった。」などの振り返りが出されました。また、1年生の児童からは、「お友だちと英語で会話するのが楽しい。」「(外国語活動で)クラスみんなの好きな色や食べ物や誕生日を知ることができて楽しい。」ということばが聞かれるなど、楽しく外国語にふれているようです。

外国語活動担当の田代教諭は、子どもたちの変化をこのように述べています。

「外国語活動を通じて、単に英単語やセンテンスを知ったということではなく、コミュニケーションの勉強になっていると感じます。外国語活動では、うなずきや相づち、会話と会話をつなぐフレーズ、ジェスチャーなどを駆使し、相手とコミュニケーションを図ります。そうした活動を繰り返すことで、日常生活でも相手を意識し思いやる言動が見られるようになっていきます。例えば、プリントの受け渡しの際に目を見て一言を添える子どもが増えたり、普段の会話のなかでも自然と表情が笑顔になり相づちを入れて話したりする姿が見られるようになりました。」

このように、日々の外国語活動を通じて、これからの社会で必要とされる「主体性を持って多様な人々と協働する態度」が身につけていっていることが伺われます。これからも、コミュニケーションの素地を育成する外国語活動の実践研究を進めてまいります。

はばたき

大分大学教育福祉科学部
附属小学校便り No.3 ②
平成27年 9月29日

～附属小学校の学習～

「学びに向かう力の育成に向けて、共感的人間関係を育むフリートークの取組」

研究主任 時松哲也

附属小学校の子どもたちが、これまで以上に主体性を持って学びに向かうためには、多様な意見が認められ尊重され、自分の意見や話をみんながしっかりと受け止め聞いてくれるという安心感が学級・学校の土台にあることが必要です。その大事な下支えを強固なものにするために、附属小学校では、今年度から朝の会にフリートークという活動を位置づけています。

子どもたちは自分たちで考えたテーマのもと、生活経験や価値観をもとに多様な考えや思いを出し合い聴き合います。「私も同じように考えていたから、○君の気持ちがわかるな」「□さんの考えを聞いて、自分の考えが深まった」というように、仲間の考えに共感したり、仲間のよさを感じたりすることを通じて、安心して仲間とともに学びに向かう子どもを育てたいと考えています。さらに、2学期からは、「聴く」ことの意義を全校で再認識し、聴くことは決して受け身な行動ではなく発言する子を温かく応援している、しっかり聴く人がいるからこそ発言することができていることを意識させるようにしています。

つい積極的な発言者に注目してしまいがちですが、共感的な聴き手の存在が不可欠という価値観を共有していきたいと思っています。



フリートークを重ねてきた子どもたちからは、「聞いたり話したりすることでクラス全体の仲が深まり、しっかりと共感的に聞くなどのクラスのレベルアップができています。」「発表が苦手だったけどフリートークを通じて発表ができるようになりました。

理由は発表した時にみんなが一生懸命聞いてくれてうれしかったからです。」「自分の考えとの比較ができるようになった。」「発表する力だけでなく相手の方を見て話を聞く力などフリートークでつけた力はたくさんある。フリートークだけで使うのはもったいない。日ごろの授業にいかしたい。」「ぼくが発表するとみんな反応（うなづきや相槌）してくれるからどんなときでも発表しやすくなった。」など、自分たちの成長を実感している言葉が聞かれています。

「思考力・判断力・表現力の育成」

各種調査研究から総合的な学習の時間が充実している学校では思考力・判断力・表現力を問う問題で好成績を残していることが明らかになっています。

附属小学校においても、これまで以上に探究活動を重視した総合的な学習の時間に力を入れています。これにつきましては紙面の関係で次の機会に報告させていただきます。

《10月の主な行事》

10月 5日 (月) 運動会結団式	10月20日 (火) 小運動会
10月 6日 (火) 運動会全体練習開始	10月24日 (土) 大運動会
10月 9日 (金) 教育実習A終了	10月26日 (月) 繰替休業
10月19日 (月) 衣替え (冬服着用)	

